

集約化・提案型森林施業 かわら版

第2回 全国提案型施業事例発表会が開催されました！

提案型施業の更なる普及・定着を進めるため、今年度の森林施業プランナー育成研修の成果などを発表する「全国提案型施業事例発表会」が、2月25日(水)、約350名が参加し国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で開催されました。

発表会は、全国提案型施業定着化促進部会(以下「全国部会」という。)の主催で行われ、主催者を代表して全国森林組合連合会の國井会長と林野庁の内藤長官の挨拶から始まり、全国部会事務局から「森林施業プランナー育成研修の目的と2年間の取組み」についての報告があった後、事例発表が行われました。

第一部では今年度の地域実践研修(2回目)に参加した森林組合等の林業事業体の中から、各ブロックの代表的な取組の中でも、特に意欲が高く特徴的な取組事例、林業事業体を支援する都道府県及び都道府県森林組合連合会の取組事例が発表されました。

発表に引き続き、相川高信氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究員)を交えて、提案型集約化施業の普及・推進に向けた課題や解決策などについてパネルディスカッションが行われ、組織内部や地域との連携、行政の人材活用、現場と同じ目線で活動などの推進のためのキーワードが出されました。

9:10	開会・挨拶
9:25	研修目的と2年目の取組について説明
第1部 9:50	特徴的な取組をする林業事業体、提案型施業の取組を支援する群馬県森連、岐阜県県産材流通課より取組事例を発表&ディスカッション
第2部 13:00	・各ブロックを代表する取組事例のポスターセッション ・改訂版「DVD」の上映
第3部 14:00	・坪野氏講演 ・ステップアップ研修参加事業体の取組発表
16:40	閉会



主催者挨拶する 國井
全国森林組合連合会会長



挨拶する 内藤 林野庁長官

第一部の様子



岡崎森林組合(愛知県)

「組合員のためになるなら」「私が頑張ります」と上司に直談判した「やる気と取組のスピード」をアピール



菊池森林組合(熊本県)

地元林研グループとの協同による取組について発表



岐阜県 県産材流通課

県単独事業において、将来の森づくりのため提案型の事業に取り組む事業体の集約化等を支援する取組を発表



久万広域森林組合(愛媛県)

町職員と一体となった取組で、所有者情報の充実等により集約化、提案がスムーズにできていると発表



群馬県森林組合連合会

県庁担当と連携した専属チームで団地設定や施業プランの単価設定等に対する助言等の取組について発表



パネルディスカッションの様子

第二部では、各ブロックを代表する12森林組合の取組事例がポスターセッション形式で紹介されました。森林組合と参加者との意見・情報の交換が活発に行われ、今後の取組の進展が期待されます。なお、このポスターセッションにおいては、今年度より、優秀作品（第一部で事例発表した3組合を除く）について表彰が行われ、須崎地区森林組合（高知県）が全国提案型施業定着化促進部会賞、南三陸森林組合（宮城県）がインパクト賞、苫小牧広域森林組合（北海道）がデザイン賞を受賞しました。12森林組合どのポスターも甲乙つけがたく、審査に当たった全国部会講師も頭を悩ませる程の作品となっていました。

第二部の様子

苫小牧広域森林組合(北海道)



デザイン賞

ポスターのまとまりやデザイン性等が評価され受賞

南三陸森林組合(宮城県)



インパクト賞

愛林組合との協力について、分かり易い説明と評価され受賞

大館北秋田森林組合(秋田県)



組織内の協力体制をつくり、組織一体となった取組

東京都森林組合(東京都)



まずは、集約化モデル林を設定し普及していく取組

東浦原郡森林組合(新潟県)



過去の施業データから工程別標準単価を設定

岡崎森林組合(愛知県)



チーム全員に工程管理が定着し、コスト意識が向上

大紀森林組合(三重県)



団地設定の要件を定めて、できるところから取り組む

山口中央森林組合(山口県)



同じ方向に向かうため、組織内の意識統一から取り組んだ

久万広域森林組合(愛媛県)



施業の発注は、町内林業事業者へ(指名競争入札)

須崎地区森林組合(高知県)



全国部会賞

研修で学んだことを、しっかり反映した取組が評価され受賞

菊池森林組合(熊本県)



林研グループも地元の間伐に不安があり、一緒に取り組む

西臼杵森林組合(宮崎県)



管内の森林の状況からも、やはり施業提案が必要!

第三部では、坪野克彦氏(株式会社フォレスト・ミッション代表取締役)による「提案型集約化施業実践への道筋」の講演に続き、今年度、ステップアップ研修に参加した三次地方森林組合、羽咋森林組合より、組織としての取組経緯やこれまでの施業実績等について発表がありました。

第三部の様子



森林所有者の信頼を得るため、精度の高い見積もりが必要。そのためにはコスト分析が重要



プランナー、経理担当、現場担当による間伐専属チームを結成し、取り組み始めた

デザイン賞を受賞した力作ポスター



今回の事例発表会については、後日、「第2回全国提案型施業事例発表会報告書」を作成し、関係者へ配布致しますので、提案型施業の推進や実施にご活用頂きますよう、よろしくお願ひします。

問い合わせ: 全国提案型施業定着化促進部会事務局 全国森林組合連合会 組織運動推進課まで(03-3294-9717)

次回のニュースレターの発行は4月中旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行: 林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL: 03-3501-3810/Fax: 03-3502-1649